

議案第 86 号

「芦ノ湖の水位の適切な管理による町民の安全確保」を  
求める意見書の提出について

地方自治法第 99 条の規定により、神奈川県知事に対し、「芦ノ湖の  
水位の適切な管理による町民の安全確保」を求める意見書を別紙のと  
おり提出するものである。

令和元年 12 月 12 日提出

箱根町議会議員 稲葉親太郎  
〃 山田 成宣  
〃 村野由紀子

(提案理由)

台風 19 号の襲来により、芦ノ湖畔や早川沿いの建物等において甚大  
な被害を受けたことから、町民の安全確保の観点から芦ノ湖の水位の  
適切な管理について十分配慮していただくよう、神奈川県知事に対し  
意見書を提出するものである。

「芦ノ湖の水位の適切な管理による町民の安全確保」を求める意見書

芦ノ湖は古来より多くの旅人を魅了し続けてきた明鏡であり、町民が愛着と誇りを感じている箱根町のシンボルである。この芦ノ湖が先日の台風 19 号襲来により夕方から溢れ出し、その水は湖畔や早川沿いの建物に流れ込んで次々に浸水被害を与えた。停電で真っ暗な 2 階に避難して一夜を明かした方も多く、どんなに心細かったことかと胸が詰まる思いである。今回は予想降水量を上回る雨量だったことが氾濫に結びついたと聞いているが、今後、町民が安心して暮らしていくためには想定外で済ますことは到底できない。芦ノ湖は平素から水力発電や観光・漁業などで利用されており十分な水を貯えておく必要があることは承知しているが、今後再び予想を上回る雨が降ることも考えられることから、芦ノ湖の水位を適切に管理して町民の安全確保に十分配慮していただくよう、次の事項について要望する。

**1 平素の湖水利用と大雨などの緊急事態への対応の両者に配慮した平素の水位管理**

湖水の利用者と町民の両者にとって許容できる水量を定め、芦ノ湖を現在より低い水位で管理していただきたい。そのため平素から少量の水を湖尻水門から放流しておくことも有効ではないかと考える。

**2 予想降水量を上回ることを念頭に置いた事前の水位低下**

予想降水量に応じた事前放流では今回のような事態に対応できないため、降雨に伴って湖尻水門を全閉した後に予想降水量を上回る降雨となっても芦ノ湖が氾濫しないよう、事前に十分に水位を下げていただきたい。芦ノ湖は降雨後に地下水によって周囲の山から供給されるため、結果的に予想を上回る降雨とならなくても水位は回復してくるものと考ええる。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和元年 12 月 日

神奈川県知事 黒岩 祐治 様

神奈川県足柄下郡箱根町議会議長 石川 栄